理事長対談

自然、人、そして地域との共生

松宮理事長「ひまわり園の園長をされるまでの経緯やターニングポイントを教えて頂けますか。」

園長「先代の父が平成十二年に開園した事から全てが始まりました。前職は科学のエンジニアをしておりました。しかし、長男として父が始めたこのひまわり園を責任持って続けていこうと心に誓い、平成十四年頃に乙訓に帰ってきてひまわり園に入り、三年前に父が他界し園長として引き継ぎました」

松宮理事長「どの様な思いで乙訓の地に帰ってこられましたか？」

園長「前職のエンジニアは海外等の出張も多くグローバルな活動をしておりましたが帰ってくるにあたり、一度整理して地域密着を意識しこの障害者総合支援センターという大きな組織に対して、中途半端な気持ちで取り組むのではなく、父の築き上げた組織を続けていこうと思いました。」

松宮理事長「ひまわり園は地域での『共生』を基本理念とされていますが、小野さんにとって地域での『共生』とはどの様にお考えですか。」

園長「私は利用者の目線で常に考えています。そして、そのサービスを提供していく為に職員やパートの方々の働きやすい環境、経営者として希望を見出せる企業であり続けたいと思っています。」

松宮理事長「乙訓地域は地域諸団体の活動も活発に行われており、乙訓青年会議所もその中の一つでありますが皆様それぞれがまちの事を考えていると思います。」

園長「乙訓地域はコンパクトで良く顔が見える所は良い所だと思います。しかし、見え過ぎる分思い切った開拓は出来にくいかもしれません。全ての意見を聞く事は出来ません。そのバランスは難しいかもしれませんね。」

松宮理事長「確かにそうですね。乙訓青年会議所の活動も行政や市民の方々、地域諸団体との連携のバランスは難しいですが、何かご協力させて頂く事は出来ますか。」

園長「福祉に対して関心がある方に少しでも飛び込んできて頂けたら嬉しいです。私達の福祉は一度引き受けたら止める事が出来ません。だからこそ興味がある方とネットワークを創り、出来るだけ多くの方々に関わって頂けたら幸いです。」

松宮理事長「是非お手伝いさせて頂きます。最後になりますが、この乙訓新聞を見て頂いている方々に何かメッセージを宜しくお願い致します。」

園長「ひまわり園の園長として、乙訓地域で障害がある方と十四年間共に頑張っておりますので、気軽にこの施設に覗いて頂き少しでも知って頂けたらと思います。この仕事は困っている人や、手が必要な人に必要なサービスを提供して喜んで頂ける事を直接体感出来る仕事なので、是非興味のある方は積極的に協力して頂きます様宜しくお願い致します。」

CONTENTS

2　７月例会
3　近畿地区大会
3　地域応援隊

公益社団法人乙訓青年会議所
〒617-0826　長岡京市開田３丁目 10-16　長岡京市産業文化会館２階　編集 /JC 運動発信委員会
HP　http://otokuni-jc.org/2016

魅力伝播案内並びに報告

【今年の入会者数１０名
正会員数　　７１名】

青年会議所（ＪＣ）とは、「明るい豊かな社会」の実現を理想とし「奉仕、修練、友情」の三信条として様々な事業や運動を行っている二十歳から四十歳までの青年経済人の集まりです。

メンバーはこの限られた時間の中で次代のリーダーを志す責任と自覚を持ち、地域の為に、そして自己の成長の為に日々活動しています。乙訓の未来を創る為に夢を語り合い、誇りを繋いでいく仲間として、共に活動して頂ける方を乙訓青年会議所では随時募集しております。

ご興味のある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局（〇七五―九五七―一二三〇）までご連絡下さい。お待ちしております。

新入会員報告

さかもと　たかし
坂元　陸
生年月日 １９８０年４月１６日
趣味 楽しくお酒を飲む・ゴルフ

南出高志様からご紹介頂き入会させていただきました。正直に申しますとどういう活動をされていて、自分に何ができるかなど分からないことばかりです。ただ、せっかくのご縁ですし人との出会いを大切にしたいと思い入会させて頂きました。

４０歳になった時の自分を想像するのは初めてですが、今よりも精神的・人間的に成長していたいです。精神的な弱さからネガティブになったり、人間関係のもつれや悩みで考えさせられる事が多いのが現状です。ＪＣ活動を通してそういった面を成長できたらと思います。

かわい　よしただ
河合　良忠
生年月日 １９８１年７月２８日
趣味 特になし

現在の自分は、毎日仕事に追われ、自分で作業していて事務作業をしていて時間がうまく作れませんしなかなか人前で喋る事や会議の文章を作るのが苦手でしてこなかってです。正直自分で逃げていた部分があります。

乙訓青年会議所の先輩方は、僕の苦手の部分をできているので先輩方を見習って４０歳なったら苦手の部分が得意分野と言えて人からも任せてもらえるようになっていたいです。不安な部分もありますが、頑張っていきたいと思います。

乙訓ＪＣのホームページのＱＲコードはこちら

今月の乙訓のイベント

「夏祭りだよ！ 2016　全員集合！！」

８月１１日（祝日）の山の日に、京都向日市激辛商店街主催、「夏祭りだよ！２０１６全員集合！！」が開催されます。辛いメニューだけでなく、辛くない、おいしさに拘ったメニューの他、ゲームやステージイベントなど家族揃ってお楽しみ頂けます。

日時：平成２８年８月１１日（祝）午後４時～午後９時
開催場所：ライフシティ東向日
※阪急「東向日駅」から徒歩約３分・ＪＲ「向日町駅」から徒歩約１０分
主催：京都向日市激辛商店街
協力：ライフシティ東向日、向日市商工会青年部
お問合せ：京都向日市激辛商店街
TEL：080-8529-5054
E-mail：info@kyoto-gekikara.com
URL:：http://www.kyoto-gekikara.com/

次回例会案内

2016 年８月１１日（木）開催
８月例会・納涼会

各委員会による前半の活動の事業検証を行い、後半の活動に活かし、乙訓青年会議所の運動を組織として更に円滑で実り多いものとする事を目的に例会を開催致します。また、納涼会にてメンバー同士の更なる絆の構築も考えておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。

【８月例会】　１７：００～１８：４５（登録開始　１６：３０）
【納涼会】　　１９：１５～２１：００

場所
【８月例会】京都府庁旧本館
住所：京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
ＴＥＬ：０７５－４１４－５４３３
【納涼会】
京都ブライトンホテル　　会場名：麗華
住所：京都市上京区新町通中立売
ＴＥＬ：０７５－４４１－４４１１

8月	乙訓ＪＣ	行政・他団体
1 月	乙訓ＪＣ説明会	
2 火	渉外交流委員会	
3 水		
4 木	第八回正副理事長会議	市民教養講座「シニア世代のためのスマートフォン教室」 サマーナイト・カフェ　in　バンビオ広場 in 西日本吹田総合車両所京都支所（向日町操車場）見学会
5 金		
6 土	文化少年団	
7 日	文化少年団	
8 月		
9 火		
10 水	理事選挙	
11 木	八月例会	
12 金		おはなしとブックトークの会 写真を楽しむテクニックの講座
13 土		
14 日		
15 月	ＪＣ運動発信委員会	
16 火	青松会・青少年育成委員会	
17 水	資質向上委員会	
18 木	第八回理事会	
19 金		
20 土		子どもの広場
21 日		
22 月	魅力伝播委員会	
23 火		
24 水	委員会対抗ゴルフコンペ まちづくり委員会	
25 木	総務財政委員会	
26 金		
27 土		
28 日		
29 月		
30 火		
31 水		

乙訓青年会議所を未来永劫守り続けていく為に

七月例会

七月十四日（木）長岡京市中央生涯学習センター三階メインホールにて総務財政委員会担当の対内事業七月例会が開催されました。公益社団法人乙訓青年会議所が創立当時より受け継がれてきた誇りや伝統を次代に繋いでいく為に、組織として守るべき定款や規程等の「約束事」と、ＪＡＹＣＥＥとして守るべき行動規範、流儀、作法等の「決まり事」について学びました。一つひとつの意味や役割を理解した上で我々が活動を行う事で、公益団体としての信頼性ある組織基盤が確立出来ます。第一部の委員会発表では、基本資料を用いて定款や規定に基づき分かり易く説明して頂きました。第二部では、ＪＣの決まり事について「ＪＣプロトコル」をもとに説明され、その後に各委員会を代表して田中副委員長、下平幹事、内海委員、近藤委員、疋田副委員長、山脇委員が青年会議所に入会後、感銘を受けた決まり事を発表されました。そして、第二十七代理事長　高井茂行先輩、第二十八代理事長　齋藤円先輩、第二十九代理事長　上村和也先輩、第三十代理事長　田原尚樹先輩、第三十一代理事長　森田健司先輩、第三十二代理事長　上野正富先輩から次代へ繋げてほしいＪＣの決まり事と現役メンバーに向けて熱いメッセージを頂戴しました。組織としての縦の繋がりと横の繋がりを大切にし、乙訓青年会議所を未来永劫守り続けていく為にメンバー全員が今一度組織として、意識を高めて頂ける実りある七月例会となりました。

また、先日行われました二〇一六年度理事長・監事選出委員選挙の結果が発表されました。この選挙は、二〇一七年度の理事長・監事を選出する乙訓青年会議所にとって非常に重要な選挙であり、足立雅也君、崔祥龍君、中路耕太君、能見太郎君、三浦靖君、南出高志君が当選されました。

アジア平和構築ｉｎミャンマー

ＧＴＳ

六月二十九日～七月三日の五日間、公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会 アジア平和構築委員会担当事業の二〇一六年度ＧＴＳ（グローバルトレーニングスクール）がミャンマーの地にて開催されました。アジア諸国との平和構築をテーマに、ミャンマーとの国境を越えた経済活動の相互理解、また、信頼関係の構築を目的とし、ミャンマーの通訳ボランティアの方々と共にヤンゴン市内の工場と企業の視察や、ミャンマー青年会議所の方々と意見交換会が行われました。そして、合同青少年育成事業としてミャンマーの子ども達と大縄跳びやムカデ競争等の楽しい事業が開催され、言葉の壁を超えた絆の構築に繋がりました。懇親会では、各グループでディスカッションの後に一日の振り返りを発表され、積極的な意見交換がなされました。このＧＴＳを通して、アジア平和に対して積極的に取り組む意識の高揚と未来へ繋がる国境を超えた信頼関係の構築への一助となる大変貴重な事業となりました。

近畿地区大会で見事グランプリ受賞

近畿地区大会

七月九日（土）立命館大学大阪茨城キャンパスにて公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会近畿地区大会 茨城大会が開催されました。『アジアのパイオニア近畿の実現～共感が切り拓く憧れの未来～』をテーマとし、「咲き誇れ！共感のバラ！」をスローガンに掲げ、地域の皆様に共感して頂き積極的な情熱を持ってまちづくりに参画し、自らの地域の未来を描いて頂く事を目的とし、第一部では、地域資源開拓コンテストプレゼンテーションが開催され、『共感経済のはじまり～つながりと体験が地域資源に共感をもたらす～』をテーマに京都ブロックの代表として、乙訓の筍をテーマに松本委員が発表され、見事グランプリを受賞されました。第二部では、地域資源開拓コンテスト「モノが売れなくなった理由を教えます！」をテーマに講演会が行われ、近年のＳＮＳを使用した手法を教えて頂きました。その後に、茨木市中央公園グランド、ＫＩＮＣＨＩＫＵフェスティバルが開催され、乙訓青年会議所からは名物の竹の子を出店し約三五〇名分が完売しました。サプライズゲストに竹内力や嘉門達夫が登場し、会場は多いに盛り上がりました。懇親会では、近畿地区大会に委員長として出向している三浦靖君を始めとするメンバーの労いや懇親会を通して新たな絆の構築にも繋がった一日となりました。

地域応援隊

想いをダーツに乗せて

⑧片山　達さん

長岡京ダーツ協会では「シニアとジュニアのダーツ教室」を中心に心身の健全な発達と地域での世代間交流を目的に、生涯スポーツとしてのダーツの普及活動を行っております。事務局長の片山氏は長岡京市で翻訳・通訳業務、営業代行業務、セミナー企画・運営などの幅広い業務を行うかたわら、ダーツを通してまちづくりに携わっています。今年の１０月にＷＤＦ世界ダーツ連盟アジアパシフィックカップが大阪府茨木市で行われる記念で、１０月２３日（日）にウエルネスダーツのエキシビジョントーナメントが行われます。参加チームを日本ウエルネスダーツ協会募集しているとの事です。

商売繁盛祈願としても有名な離宮八幡宮

石清水八幡宮の元社にあたる離宮八幡宮は、八幡大神を祭神とする神社です。平安時代に清和天皇の勅命により建立されました。その後、嵯峨天皇の離宮後であった為、離宮八幡宮と呼ばれるようになりました。平安時代の後期に荏胡麻（えごま）油の搾油器を発明し製造が始まった事から製油発祥地とされています。売買の守護神としても崇敬されているので、商売繁盛祈願に来られる方も沢山おられます。また、離宮八幡宮の名物の「油断大敵」と書かれたユニークなお守りも人気です。

長岡天満宮氏子青年会

長岡天満宮青年会は長岡天満宮を拠点とし、まちづくりを通して地域の活性化の為に活動されている団体です。その活動地域と活動内容から、メンバーの大半は乙訓青年会議所の卒業生と現役会員で構成されており、夏祭りや年末年始の甘酒接待等の長岡天満宮の行事の奉仕を通して地域貢献の為に他の地域諸団体と連携し日々活動されておられます。今年６月の定期総会より伊東紘典先輩が会長に就任されました。平成３０年度には結成５０周年を迎える為、現在会員を募集しています。興味を持たれた方は是非ご連絡下さい。

乙訓文化少年団

七月三日（日）長岡京中央生涯学習センター創作室一にて、青少年育成委員会担当事業の文化少年団の科学実験教室が開催されました。豊中高等学校の講師、早川昌志先生を講師にお招きし、タブレットやスマートフォンを使って手作りのスマホ顕微鏡を作成し、その顕微鏡を使ってミドリムシ等の生物を観察しました。子ども達は班に分かれて学年問わず楽しみながら真剣に取り組んでおられました。学校では体験出来ない事業を通じて、楽しみながら協調性や道徳心を学び、成長していく事が出来る事業となりました。

サマーコンファレンス２０１６ｉｎ横浜

七月十六日（土）、十七日（日）の二日間、パシフィコ横浜にて、サマーコンファレンス二〇一六が開催されました。サマーコンファレンスとは、公益社団法人日本青年会議所の運動を広く発信する為に、各界を代表する著名な有識者をお招きし、政治・経済・社会等の様々なジャンルのファンクションを開催する場であり『アウフヘーベン』をテーマに華々しく開会されました。『アウフヘーベン』とは、二つの相反する命題を互いに否定しつつも生かして結合し、より高次元の段階で総合命題を導く事を意味します。『個と公の調和という新たな価値観による個別具体的な解決策を全国に発信し、日本に良循環を巻き起こす』事を目的とし、心ある国、日本の想像に繋がる多くのフォーラムが開催されました。ＬＯＭナイトでは、日本青年会議所に出向している内海委員や、南出監事から出向して感じた事や気付きや学びを熱く発表され、改めて出向の魅力を感じると共に、絆の構築にも繋がる懇親会となりました。閉会式では第六十五代会頭 山本 樹育君より各ファンクションにて導き出された具体的な運動を総括し、我々が目指すべき未来への展望と、来場された方々に感謝の気持ちを述べられました。